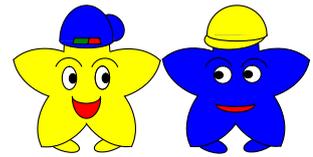


基本理念：「愛情と信頼」「研鑽と結束」



忠別川



旭川市立東光小学校
学校だより第2号
令和3年5月25日



心のケア

校長 石ヶ森 孝順

北海道を対象にした緊急事態宣言の発令を受け、5月17日（月）朝、運動会の延期を決定し、職員で確認し合いました。総練習を明後日に控え、用具の準備を整え、子ども達の練習にも熱が入っていただけに残念な思いでした。

この日の中休み、6年生数名が、校舎前のアスファルトの舗道でリレーのバトンパスの練習をしていました。右に左に行ったり来たりを繰り返して、楽しそうに走っていました。

その姿には目的を失った淋しさはなく、見ていて不思議な感覚を覚えたので、6年生2名に直接たずねてみました。



「朝から運動会の延期を知っていたと思うけど、どんな気持ちで練習していたの？」
—「運動会が延期になったってことは、練習の時間が増えたってことだと思います。」
—「何となく体がなまっちゃってるもので…。」

昨年から学校行事を予定どおり実施できないケースが生じています。その際、指導者は、どのように子ども達に説明し、次につなげていくべきなのか、この児童2名の素晴らしい回答から、ヒントを得られるように思います。

1つは、予定が変更されても、「プラスの側面はある」ということです。

プラスの側面を生かせるよう、どのように工夫すれば実施が可能なのか、中止がやむを得ないのであれば、替わって何ができるのかを考えていく必要があります。

2つは、予定が変更されたら、「切り替える」ということです。

子どもが新たな課題意識をもって目標を設定できるよう、思いを受け止め、寄り添ってアドバイスしていく必要があります。

児童の健康・安全を優先しますと、行事等を中止・延期・縮小しなくてはなりません。しかし一方で、中止・延期・縮小が過剰になりますと、学年の発達段階の中で児童が成長するための大切な機会を失ってしまうことにもなります。難しいことですが、感染対策と教育活動、この両者のバランスをとることに意を用いていきたいと考えます。

感染症の終息が見えず、不自由な状況にあっても、私達は一生懸命に生活しています。自粛により知らず知らずに緊張が続いていますので、疲れがとれないなど体調面の不調、不安やイライラなど心理面の不調が起こる可能性があります。

保護者の皆様におかれましては、子どものストレスを少しでも防ぐため、例えば次の点に配慮されながら、安心できる環境をつくっていただくと、大変ありがたく存じます。

- ◇日常を維持する ～ いつもと同じ時間に起きる・寝る、規則正しい食事
- ◇一緒に考える ～ 一緒に夕食を作る、一緒に掃除をする、予定を立てる
- ◇話を聴く ～ 否定せず受け止める、子どもなりのがんばりを認める
- ◇リラックスする ～ ストレッチ、ランニング、読書、音楽など好きなこと

